

来年度は上益城ブロックで開催！ - 火の国ボランティアフェスティバル推進会議 -



【議長の県社協 松葉常務理事(右奥)】

7月3日(金)、県総合福祉センターで「火の国ボランティアフェスティバル推進会議」を開催しました。この会議は、県健康福祉部、大会開催地実行委員会、県ボランティア連絡協議会、市町村社協連合会、県社協の5者の代表者で構成しており、平成18年度から毎年度実施している「火の国ボランティアフェスティバル」の関係機関・団体の連絡調整や大会開催に向けた広報・啓発、次期開催地について協議するために設置しています。

今回は、宇城ブロックの実行委員会から本年度の第9回大会の開催概要と進捗状況についての報告や今後の大会のあり方などが協議されました。



【大会内容について協議】

また、平成28年度の第10回大会の開催地域については、県内の各市町村社協に対し実施した開催希望調査や県ボランティア連絡協議会からの意向を参考に、上益城ブロック(御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町)での開催を県社協会長に意見具申し、県社協会長は平成27年7月10日付けで、同ブロックでの開催を決定しました。なお、第9回火の国ボランティアフェスティバル宇城大会は、11月7日(土)・8日(日)の両日、「ウイングまつばせ」をメイン会場として、講演会やパネルディスカッション等を予定しています。多くの皆さまのご参加をお願いします。

民児協会長の役割について学ぶ ～市町村民生委員児童委員協議会会長研修会～



【挨拶をされる中村市長】

7月9日(木)～10日(金)の両日、ホテルアレグリアガーデンズ天草で、平成27年度市町村民生委員児童委員協議会会長研修会が県民児協と県社協との共催により開催され、県内各地から104名の参加がありました。開会式では、開催地の天草市長(社協会長)中村五木氏から歓迎と激励の言葉をいただきました。

1日目の「基調報告」では、県民児協宮本会長から全民児連の活動と、平成29年度に迎える民生委員制度100周年に向けた記念事業計画に関する報告がなされたあと、県健康福祉部より「地域福祉の推進について」の行政説明が行われました。その後、ルーテル学院大学学事顧問・教授、市川一宏氏

から「民児協会長としての地域の課題解決に果たすべき役割」と題し、地域の生活課題と民生委員・児童委員の役割、民児協運営の手法等についての講演がありました。

続いての交流会では、県知事蒲島郁夫氏をはじめ、県議会議員、行政、社協等多くの来賓をお迎えして開催され、行政、社協を交えての熱心な交流がなされました。またオープニングでは天草市役所の牛深ハイヤチームによるアトラクションが披露され大変盛り上がりしました。

2日目は「民児協会長の組織運営の役割」をテーマとした全体協議が市川一宏氏のコーディネートで行われ、活発な意見が交わされた後、代表者による報告がなされ、会場は民生委員・児童委員による地域福祉活動をさらに推進していこうという意気込みに満ち、有意義な研修となりました。



【挨拶をされる蒲島知事】

福祉の仕事・出前講座開催！ — 第1回 八代第三中学校・第2回 大津町社協 —



7月14日(金)、八代第三中学校で第1回目の福祉の仕事・出前講座を開催し、131名の中学生の参加がありました。この講座は、地域の福祉施設で働く若手職員が講師となり、「福祉の仕事」のやりがいや楽しさ、面白さなどを伝えることで、若い世代の福祉分野への興味・関心を高めることをねらいとしています。

今回はすずらんの里の田上綾子さんが、祖母との関わりの中で福祉の仕事に興味を持ったこと、資格の種類や取得方法、実際に仕事をしていて良かったと思う事などを話されました。講話終了後には、生徒達から「資格を取る時の勉強方法は」「お年寄りとの関わりの中で一番楽しいことは何か」などの質問がありました。

【講師の田上綾子さん(すずらんの里)】

また、7月17日(金)には、障がい者支援施設つくしの里の三木聡之さんを講師に迎え、大津町社協のワークキャンプに参加する中学生47名を対象に開催しました。福祉を勉強しようと思ったきっかけやデンマーク留学で学んだこと、障がい者の方と接する上で心掛けている事などを話されました。最後に「色々な個性の人たちが支え合って成り立っているのが福祉の現場。自分の話を聞いて興味を持ったらぜひ自ら動いてほしい」と語りかけました。



【三木聡之さん(つくしの里)】

保育士としてのやりがいと定着に向けて — 保育士フォローアップ研修会 —



【グループ討議】

福祉人材・研修センターの支援により保育士として就職された方を対象に、7月22日(水)、県総合福祉センターで保育士フォローアップ研修会を開催し、42名の参加がありました。福祉人材・研修センターでは、就職後も支援、フォローを継続しており、今回は離職防止を目的に初めて開催しました。

研修会では、熊本学園大学 社会福祉学部 子ども家庭福祉学科教授 宮里六郎氏から「保護者等との対応とメンタルケア」をテーマに御講義いただき、その後、グループ討議を行いました。グループ討議では、保育士のメンタル面でのリスクを軽減し、自身の効果的なモチベーションの高め方を学び、また保育サービスの質の向上に生かすために、明日から即実践できる課題を見つけようと活発な意見交換が行われました。参加者の日

頃の保育への悩みを打ち明けアドバイスをし合ったり、また子ども同士のトラブルに関わる親への対応などの内容の講話もありました。参加者からは、「自信がついた。」「先生の一言で救われた。」「明日から頑張れます。」などの感想をいただきました。

7月10日は納豆の日 —九州納豆組合様から児童福祉施設へ納豆寄贈—

今年も7月10日の「納豆の日」を記念し、「九州納豆組合」から県内の児童福祉施設(135施設)へ3,108食分の納豆が寄贈されました。この活動は納豆の普及と子どもたちの健康を願い、社会貢献として平成5年から毎年続けられており、今年で23回目となります。

贈呈式は、7月10日(金)、県総合福祉センターで行われ、九州納豆組合のマルキン食品(株)代表取締役松岡昭氏、(株)丸美屋代表取締役東健氏から県社協吉本総務課長に目録が手渡されました。



寄付のお礼 ～熊本県美容業生活衛生同業組合 理事長 片山和隆 様～



【右:片山和隆氏 左:松葉常務理事】

7月27日(月)、熊本ホテルキャッスルで、熊本県美容業生活衛生同業組合理事長片山和隆様から寄付金をいただきました。

今回いただいた寄付は片山氏が藍綬褒章を受章され、その祝賀会の会費の一部を福祉団体へと寄付をされたものです。

ご寄付いただきました浄財は、社会福祉振興基金に積み立て、民間福祉団体やボランティアの活動支援、社会福祉事業の振興などに有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

各課トピックス

* お問合せは、県社協各課まで

総務課	地域福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p>◆県社協職員採用試験のご案内◆ 採用年月日 平成28年4月1日 採用職種及び人員 一般事務(福祉活動推進業務に関する事務) 2名 申込受付期間 7月13日(月)～8月18日(火) 試験日程等 【一次試験】8月30日(日) 【二次試験】9月22日(火)又は23日(水) *試験案内等については、本会HPへの掲載、大学・関係団体への通知、ハローワーク、福祉人材・研修センターへの求人票提出等により周知しています。</p>	<p>◆研修会開催のご案内◆ ○生活困窮者自立相談支援事業相談支援員等研修会 各事業の連携を図るため、相談支援員・生活福祉資金貸付事業担当職員・地域福祉権利擁護事業担当職員の合同研修会を開催します 期 日 平成27年9月24日(木) 会 場 メルパルク熊本 ○生活支援コーディネーター養成研修 期 日 平成27年9月29日(火)～30日(水) 会 場 KKRホテル熊本</p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p>◆社会福祉法人労務研修会のご案内◆ 日 時 9月15日(火) 13:30～16:30 場 所 メルパルク熊本 参加費 3,000円 定 員 250名 テーマ 「マイナンバーとストレスチェックの実務対応」 講 師 特定社会保険労務士 上田 吉勝 氏 対象者 社会福祉法人の役員・施設長・事務担当者他 ※詳細は、後日お送りします開催要項でご確認ください</p>	<p>◆生活福祉資金貸付の対象世帯の所得基準のお知らせ◆ 生活福祉資金貸付では、低所得世帯の所得上限額の基準を平成24年度生活保護基準の1.6倍としています。 平成25年度以降、生活保護基準額が引き下げられておりますが、貸付対象世帯への影響を避けるため、本会においては、当面の間、対象世帯所得上限額の基準を、従来のまま据え置くこととします。 なお、所得上限額は世帯構成などにより、異なりますので、県または各市町村社協窓口にご相談ください。</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-324-5456
<p>◆福祉の仕事就職面談会(職場説明会)開催のご案内◆ 福祉の仕事をしたい人、福祉の仕事に関心のある人を対象とした就職面談会です。福祉施設等が参加し、プレゼンテーションと人事担当者との個別面談を行います。 期 日 9月6日(日) 12:15～17:00 会 場 県総合福祉センター5階「研修ホール」ほか 参加対象 平成28年春卒業予定の学生及び福祉の職場を目指している一般の方 70名(参加費無料・参加申込が必要)</p>	<p>◆リーフレットのご案内◆ 当センターでは、「地域福祉権利擁護事業」の概要や契約までの流れを説明するためのリーフレットを作成しています。 相談者への説明用としてだけでなく、サービス利用の促進のために、各市町村社協で開催される研修会などでもご活用ください。</p> 
ボランティアセンター	ご 案 内
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	<p>◆「社会福祉手帳 2016年版」頒布について◆ 価 格 1冊 600円 送 料 4冊以下注文の場合は300円 5冊以上注文の場合は無料 資料編 社会福祉法等の法令、県関係機関、県内外の社協、県内の施設・団体等の名簿、市町村別人口等一覧など豊富な資料を掲載しています。 ※申込書は本会ホームページからダウンロード出来ます。</p>  <p>【2015年版】</p>
<p>◆熊本県・阿蘇地域総合防災訓練で 災害ボランティアセンター設置訓練を実施!!◆ 8月30日(日)、南阿蘇村社協(久木野総合福祉センター)で熊本県・阿蘇地域総合防災訓練における阿蘇地域災害ボランティアセンター設置訓練を阿蘇ブロック社協と県社協が連携して実施します。どなたでも視察できますので、是非ご来場ください。 なお、本訓練は阿蘇ブロック社協主催の阿蘇地域災害ボランティア養成講座の一環としても実施されます。</p>	